

令和 7 年度教育委員会事務局予算編成方針

1 令和 7 年度予算編成にあたっての考え方

教育大綱が掲げる基本方針「心を磨き可能性を引き出す彦根教育」を実現するため、学校教育、家庭教育、社会教育がそれぞれの役割を最大限に発揮するとともに、相互に連携・協働しながら、地域全体の教育力の向上を図ることをめざす。

教育委員会・学校と家庭・地域等が、子どもを真ん中に据えて、予測困難な時代を生きる資質・能力を育み持続可能な社会の創り手を育てるという目標を共有し、取組を進めていかなければならない。そのため、令和 7 年度においては、次の 6 項目を重点課題として、各種教育行政施策を推進する。

2 令和 7 年度重点取組

(1) 心理的安全性が確保され、すべての子どもの可能性を引き出す学校づくり

- ・子どもの健康、命、人権にかかわる諸課題へのきめ細かな対応
- ・いじめ対策・不登校児童生徒支援の充実
- ・特別な教育的支援が必要な児童生徒、外国人児童生徒等の多様な教育ニーズへの適切な対応

(2) 社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・地域とのつながりの中で体験的に学ぶ「社会とつながる協働的な学び」の充実
- ・子どもが主語となる「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ・幼児期の非認知能力や「学びの基礎」をつないで伸ばす幼保小中接続の充実

(3) 生涯学習・社会教育の充実と家庭・地域の教育力の向上

- ・社会教育の拠点となる公民館・図書館・博物館の機能強化による地域の教育力向上
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ・子どもたちの読書活動の充実と読書習慣の定着

(4) 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・アクティブラーニング教室の効果的活用による情報活用能力の育成
- ・教員の ICT 活用指導力の向上と教育データの利活用の促進
- ・GIGA スクール構想にかかる学校 ICT 環境の更新

(5) 教育の質の向上を図る学校における働き方改革

- ・指導体制の工夫や ICT・教員業務支援員等の効果的な活用による校務の効率化
- ・中学校休日部活動の段階的な地域移行の推進
- ・各学校の取組状況の「見える化」による課題に応じた具体的な指導・支援

(6) 新しい時代の学びを実現する教育環境の整備

- ・（仮称）図書館中部館実施設計の推進
- ・教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備
- ・「（仮称）小中学校適正規模・適正配置基本方針」の情報提供